

# 高齢者 交通安全 マニュアル

高齢者の交通事故を減らすために



岡山県警察本部  
交通部交通企画課

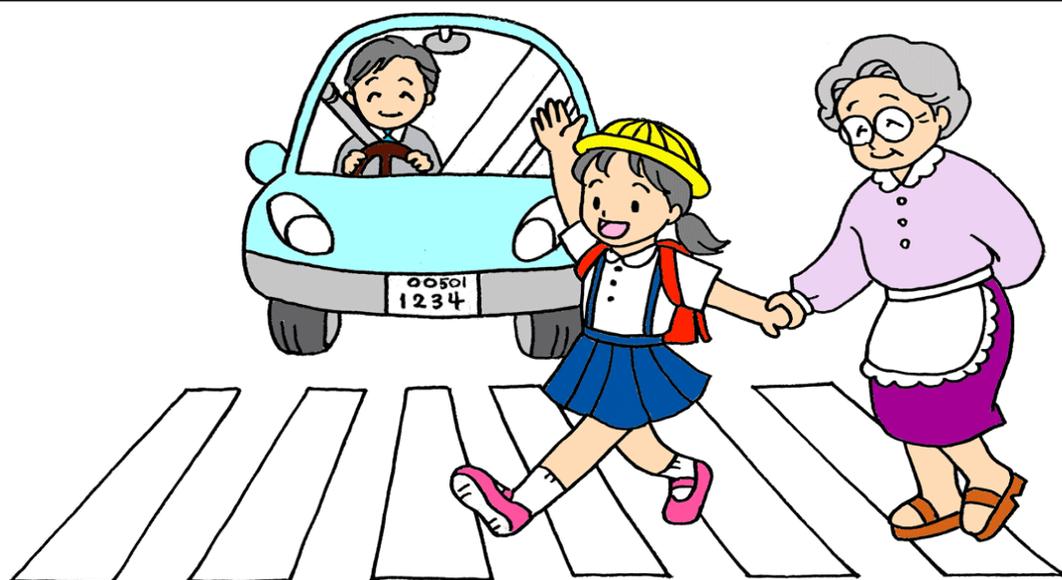
# ～はじめに～

このマニュアルは、高齢化社会の進展により増え続ける高齢者の方が関係する交通事故を1件でも減少させようという目的のもと、作成したものです。

安全運転のためのポイント等、本書を読まれた方はもちろん、周囲の高齢者の方にも呼び掛けていただきたい内容を取りまとめています。

皆様も、そして周囲の高齢者の方々も、平穏な日々を一瞬にして奪い去る「交通事故」に遭わないよう、また起こさないよう、本書を有効に活用していただきたいと思います。

「目と手で合図！ストップ運動」実施中！！



# 岡山県内の交通死亡事故の現状

## 高齢者事故の特徴（令和2年中）

高齢者の交通死亡事故では、

- 歩行中（死者10人）  
横断中（8人）・・・うち2人は信号無視
- 四輪車乗車中（死者14人）  
路外逸脱などの自損事故（6人）  
対向車線にはみ出して正面衝突（3人）
- 自転車乗車中（死者13人）  
用水路に転落する自損事故（6人）  
道路横断中（6人）



といった特徴が見られます。

また、全死者のうち高齢者が占める構成率が64.5%となっており、統計の残る昭和63年以降で最大の数値となっています。

令和2年中 全死者62人中、高齢者の死者40人(構成率64.5%)

区分	歩行中	四輪車乗車中	二輪車乗車中	自転車乗車中	その他	計
死者数	10	14	1	13	2	40
うち薄暮～夜間	8	2	0	5	0	15
構成率	80.0	14.3	0.0	38.5	0.0	37.5



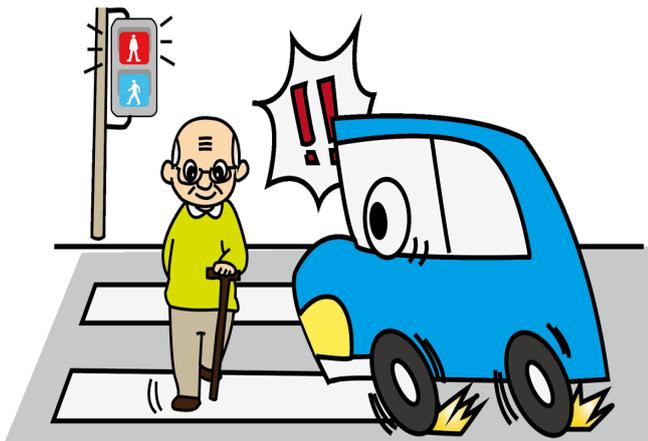
# 歩行者の方へ

令和2年中、歩行中死者のうち高齢者は10人で、うち8人は横断中で、信号無視などの歩行者側の違反も事故の原因となっています。

横断中の事故の特徴として、左方から来た車に衝突されるケースが特に多いので、道路中央まで横断してからは、左方からの車の有無をよく確認してください。

## 主な事故概要

赤信号無視で横断中に被害



横断歩道外を横断中に被害



目と手で合図



- 横断時は、手前で必ず止まり、左右から車が来ていないかをしっかり確認
- 近くに横断歩道があれば、必ず利用して横断を
- ドライバーに目線を向けたり、手を挙げるなどの合図を出して、横断歩道を横断する意思表示を
- 車の直前直後の横断や斜め横断はとっても危険
- 信号を守って、押しボタンがあれば必ず押して、信号が変わるまで待つ

## 夜光反射材の着用

横断中被害にあった8人全員が薄暮から夜間時間帯にかけて被害にあっており、全員が夜光反射材を着用していませんでした。

夜間、車のライトが照らす範囲には限界があるため、自分が思っているほど、車のドライバーからは見えていないのです。



### ■ 夜、ドライバーから歩行者が見える距離



夕暮れ前に外出する際は、明るい色の服装で、夜光反射材、夜光タスキ、LEDライトを着用して、存在をアピールしましょう。



# 自転車利用者の方へ

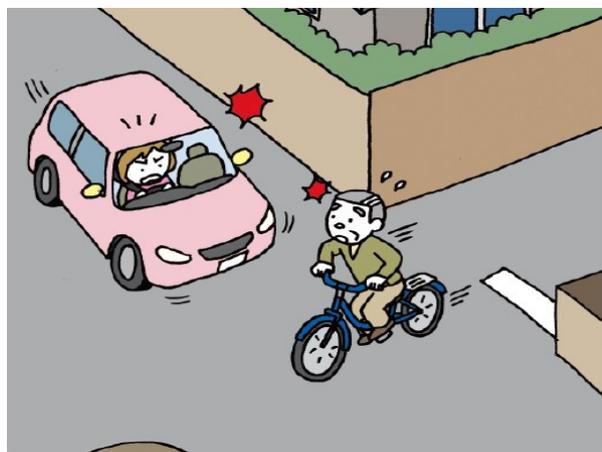
令和2年中、自転車乗車中死者は13人でしたが、その全てが高齢者でした。

## 主な事故概要

### 用水路への転落



交差点での出合頭事故



横断時の事故



- 用水路の近くは、押して歩きましょう
- 荷物の乗せすぎにも注意です
- 見とおしの悪い交差点や一時停止場所では必ず止まって、左右の安全確認を
- 急な斜め横断などは危険です
- 夜間はライト点灯と、反射材の着用を

# 運転者の方へ

令和2年中、高齢運転者による死亡事故は14件で、そのほとんどが一方的な過失ともいえる事故でした。

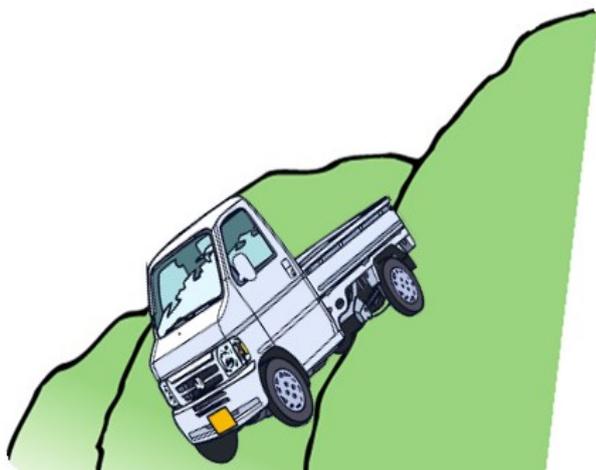
運転に集中して、前をよく見てさえいれば事故は起きていなかったかもしれません。

ぼんやり

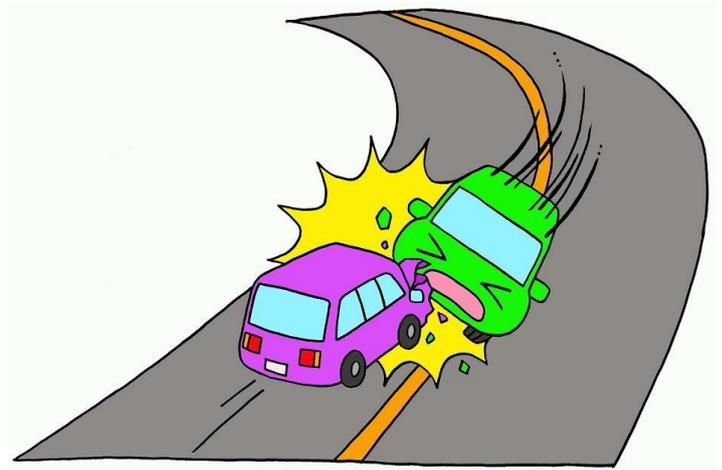


## 主な事故概要

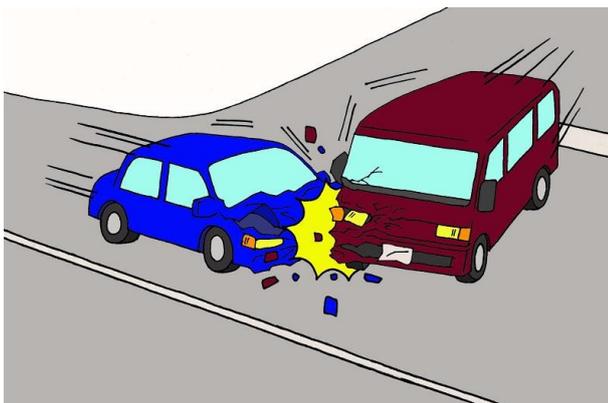
路外逸脱などの自損事故



対向車線にはみ出して正面衝突



一時停止を怠って出合頭衝突



停止車両に追突

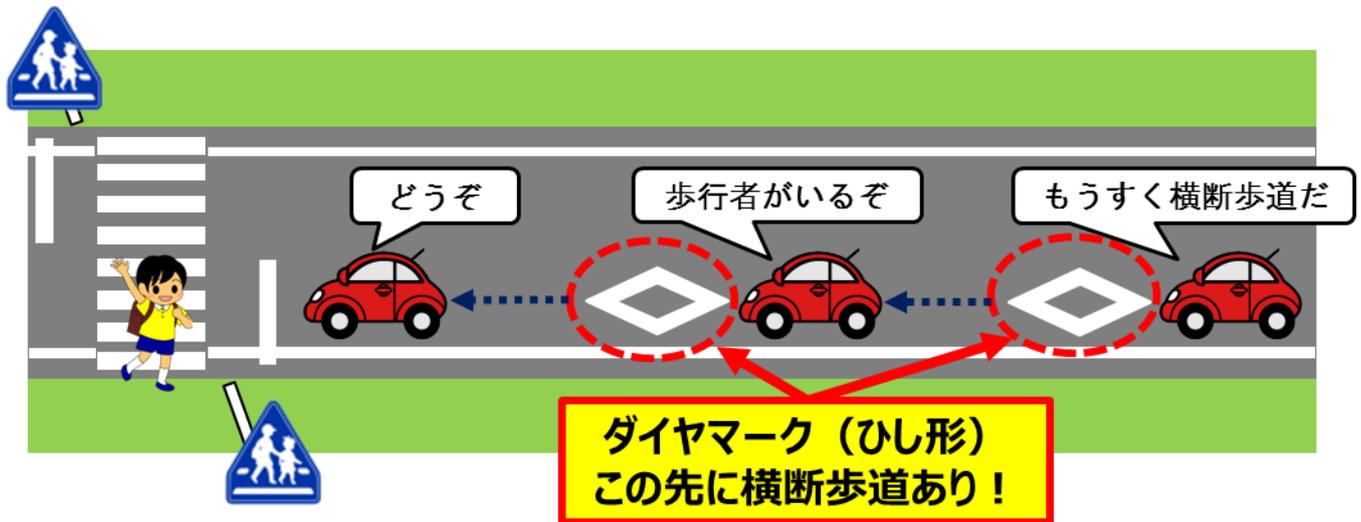


- ・ 考えごとや脇見をせず、運転に集中を
- ・ 前をしっかりと見て、スピードは控えめに
- ・ 標識を見落とさず、安全確認を

## 横断歩道は歩行者優先

信号機のない横断歩道を横断しようとする人や横断者がいる場合は、一時停止して進路を譲りましょう。

信号機のない横断歩道の存在を知らせる標示「ダイヤモンド」に注意し、横断者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できる速度まで減速し、横断しようとする歩行者がいないか、しっかり確認しましょう。

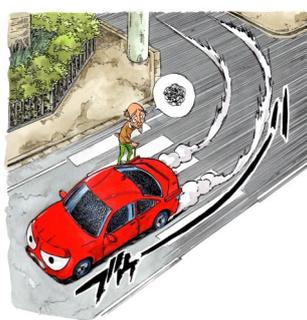
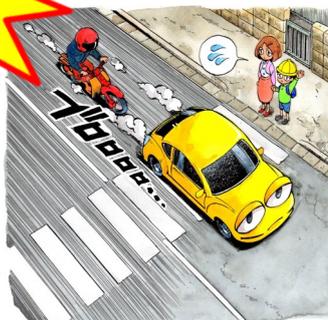


- 横断歩道を早く発見 ～「ダイヤモンド」に注意!!
  - ・ 信号機のない横断歩道の存在を知らせる標示「ダイヤモンド」に注意して、横断歩道を早く確認しましょう。
- 横断歩道に近づいたら
  - ・ 横断歩道の手前で停止できる速度まで減速しましょう。（横断しようとする歩行者がいないことが明らかな場合を除く）
  - ・ 横断歩道を横断しようとする人や横断者の有無を確認しましょう。
- 横断歩道を横断しようとする人や横断者がいる場合必ず一時停止して、歩行者に進路をゆずりましょう!!

取締り強化中!

### 「横断歩行者等妨害等違反」

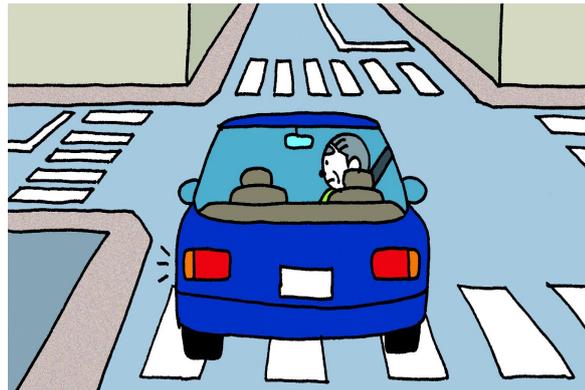
違反点数：2点 反則金：9,000円(普通車)



## 合図の徹底

合図を出してあなたの意思を周囲の車などに伝えましょう。

合図は、右左折時には30メートル手前から、進路変更時は3秒前から出しましょう。



## ライトは早めに点灯、原則上向き

日の入時間の1時間前を目安にライトを点灯させ、前方視野の確保、自車の存在を周囲に知らせましょう。

ライトは上向きが基本です。前車や対向車がいるときには下向きへ、こまめに切り替える習慣を付けましょう。



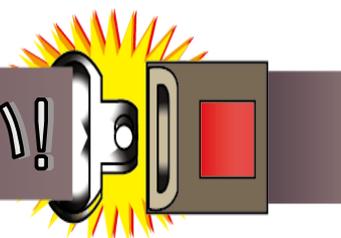
## シートベルトは命綱

シートベルト非着用者のうち、約9割がシートベルトをしていれば助かったと考えられています。

シートベルトは、事故の衝撃で車外に放り出されたり、座席からとび出してドライバーにぶつかるなどの被害を最小限にしてくれるものです。

同乗者全員にシートベルトを着用させることは運転者の義務です。

**事故が起きてからでは遅い!**



# 安全運転サポート車とは？

安全運転サポート車とは、自動ブレーキを搭載した、全ての運転者に推奨する自動車です。

さらに、自動ブレーキに加え、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した自動車のことをセーフティ・サポートカーS（サポカーS）といい、特に高齢運転者に推奨する自動車です。



## 先進安全技術の一部をご紹介します！

### 自動ブレーキ

危険を予測し、衝突を回避、または被害を軽減。



### ペダル踏み間違い時加速抑制装置

駐車スペースから出る時などの、誤操作による急発進を防ぐ。



### 車線逸脱警報

車線を検知して、はみ出しを警報で注意喚起。



## サポカー補助金

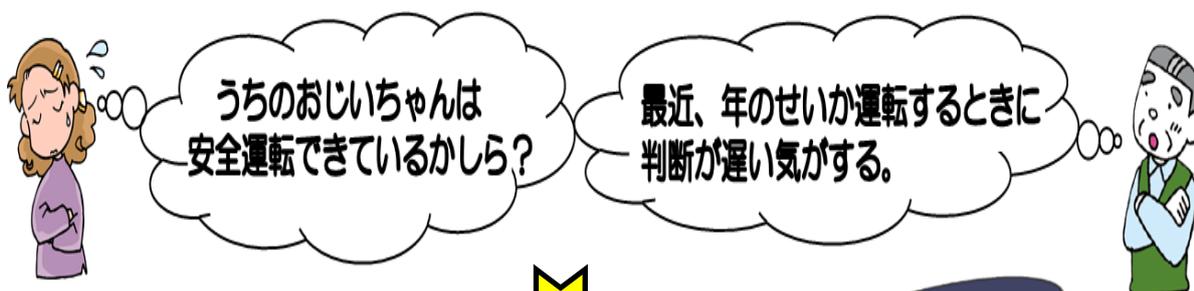
65歳以上のサポカー購入者を補助する目的で、最大10万円の助成金が交付される制度があります。車の購入を検討されている方は、事故防止や被害軽減に効果のあるサポカーを検討してみてください。

### Point

安全運転サポート車は、安全運転を支援、または被害を軽減するための装置が設置された車であり、交通事故に遭わない車ではありません。作動には一定の条件があるので、装置を過信せず、安全運転を心掛けてください！

# ドライブレコーダーによる交通安全指導

原則70歳以上の高齢者のうち、過去に複数回交通事故を起こした方、運転に不安を感じている方などを対象に、本人又はご家族の要望等を受けて、警察のドライブレコーダーを貸し出して日常の運転状況を記録し、専門の指導員がその記録映像を確認して必要な指導を行うものです。



## ドラレコ指導をお勧めします！



## 手順はとっても簡単！

【交通安全指導の状況】



Point

## 個別指導はご家族の方も一緒にできます

今の自分の運転能力を正しく知ることは安全運転につながります。

ご自身の今を知った上で、「雨や夜の運転は控える」、「車間距離を多めにとる」などと運転を調整して、安全運転に努めてください。

# おかやま愛カード

## おかやま愛カードとは？

高齢者運転免許証自主返納支援制度として運転免許証を自主的に返納等された県内にお住まいの65歳以上の高齢者の方の申請により、県警察が発行するカードです。

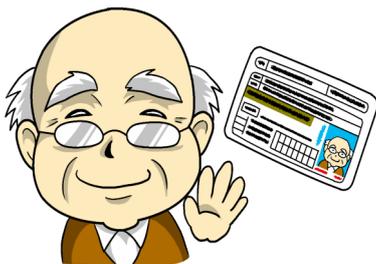


このカードを協賛店（車）で提示すると、商品の割引や主要路線バス・鉄道運賃（JR及び一部バス会社を除く）半額、タクシー運賃（一部タクシー会社を除く）1割引などのサービスを受けることができます。特典内容の詳細は、カード交付時にお渡しする協賛店一覧や県警察ホームページをご覧ください。

**協賛店は約2,600事業所！**

**バス・タクシーは約200事業所！**

**（※令和3年4月末現在）**



### ○ 申請対象

岡山県内にお住まいの65歳以上の方のうち運転免許証を

- ・自主返納される方
- ・すでに自主返納されている方
- ・失効されている方
- ・病気により取消しとなった方

### ○ 申請場所

- ・岡山県内各警察署の交通課窓口（矢掛幹部派出所を含む）
- ・運転免許センターの更新窓口

## 安全運転相談

運転免許センターでは、加齢による認知・判断能力の低下などで、運転に不安を感じている高齢者やご家族の方からの相談を受け付けています。

また、運転免許の自主返納制度や自主返納者に対する各種支援施策の案内も行っています。

来場相談だけでなく、下記の専用ダイヤルによる電話相談も受け付けています。

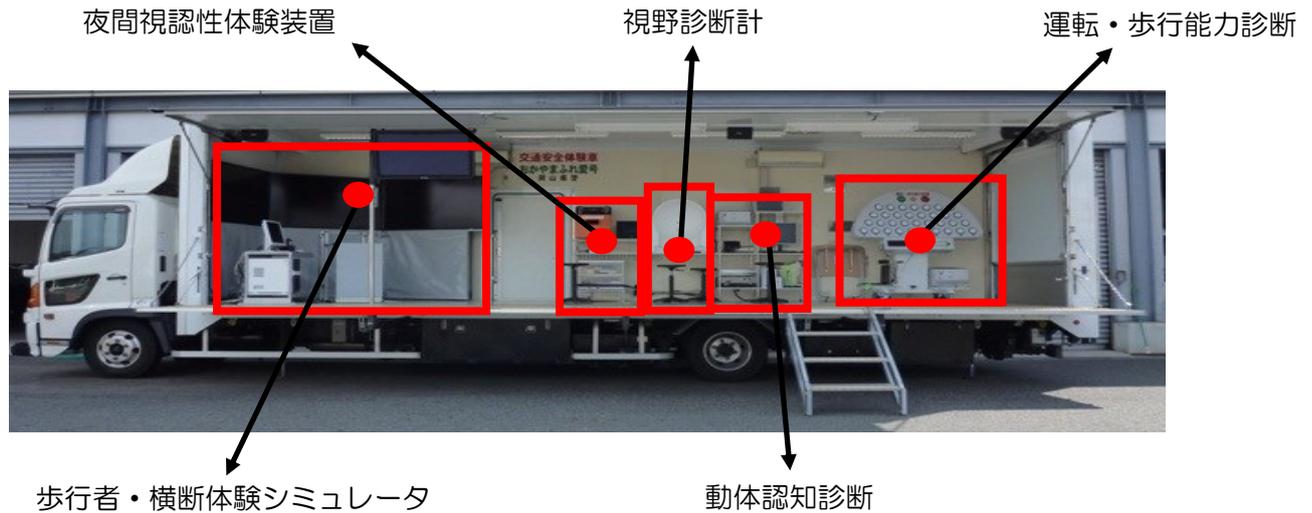


**安全運転相談ダイヤル #8080【シャープハレバレ】（平日8:30~17:00）**

# 交通安全体験車「おかやまふれ愛号」

様々な体験装置を搭載したトラックで、実際の体験を通して、運転や歩行に必要な身体機能や能力を知ることができます。お住まいの地域までまいりますので、是非ご利用ください！！

## おかやまふれ愛号



※ この他にも要請により搭載できる装置があります！

## 歩行者・横断体験シミュレータ

車の行き交う複雑な交通環境を再現し、横断体験ができます。



## 運転・歩行能力診断

反応の速さ、正確さなどをモグラ叩きゲームの要領で体験できます。



## その他の機器

Point

搭載機器	体験内容
夜間視認性体験装置	夜間には、何色が見えやすいのか、何色が見えにくいのか、実際に自分の目で確認できる
視野診断計	運転や歩行に大きく影響のある視野を診断（特に高齢者は狭くなる）
動体認知診断	滑らかに動くもの及び飛び出してくるものを正確に認知する力がわかる（運転中や歩行中において）
プラズマテレビ	交通安全ビデオ放映など

子供から高齢者まで全ての道路を利用する方にご利用いただけますので、実際に体験してみてください。

# 交通安全教育資器材の紹介

高齢者は加齢に伴い身体機能や運動機能が低下し、瞬時の判断や行動が困難な場合があります。

身体機能の低下を意識し、必要な知識を習得してもらうため、次のような交通安全教育資器材を活用した参加・体験・実践型の交通安全教育を行っています。



## 自転車シミュレーター

実際の交通状況を再現し、自転車の運転を疑似体験することで、交通ルール・マナーの学習や自転車運転に伴う危険を安全に体験することができます。



## クイックアール

2つ同時に光るボタンをたたいて、ゲーム感覚で楽しみながら反応速度（俊敏性）を測定できます。「見て、判断して、手を動かす」、その反応速度から反射神経年齢が分かります。



## 動画KYT

模擬市街地等を走行する動画を見ながら、危険箇所を予測してもらいます。動画終了後、参加者で危険と感じたタイミングを検証することで、様々な視点から交通安全知識を学ぶことができます。一度に最大20人が受講可能です。

### Point

参加・体験・実践型の交通安全教育は、今の自身の状況を正しく知ることでつながり、自ら納得した上で、交通安全に関する知識を深めることができます。

ぜひ、活用を検討してください。

# ～おわりに～

「高齢者交通安全重点地区」活動とは、平成27年度から始まった取組であり、警察署ごとに交通事故分析に基づいて特に交通事故の危険性が高いと思われる地区を選定し、その地区の代表者である皆様方が先頭に立って主体的に交通安全活動を進めていただくことにより、その地区の交通事故の未然防止を図るものです。

具体的には、皆様とともに重点地区において、街頭活動、交通安全教育、情報発信などの各種交通安全対策を集中的に行い、重点地区を中心として交通安全意識の高揚を図り、その活動を周囲の地域にも伝え、広めることにより交通安全の輪を広げていくことを目指します。

皆様方と協働し、高齢者が関係する交通事故を1件でも多く減らしていこうと考えておりますので、今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



# 守ろう高齢者 減らそう交通事故



目指せ日本一！

交通マナーアップ

～ゆずる・とまる・まもる～

岡山県警察

